

臨床心理査定演習 A

2 単位 (必修) 1 年 (前期)

山本 真由美・教授 / 臨床心理学専攻, 佐藤 健二・教授 / 臨床心理学専攻

【授業目的】 クライエントの心理学的問題を適切に理解するための技法を身につけることを目的とする。そのために心理査定 (アセスメント) 法の基礎理論を学ぶと同時に質問紙法と発達検査を中心にいくつかの心理テストを大学院生同士相互にあるいは心理臨床の場で実施し、報告書 (心理検査所見) 作成までを実践する。

【授業概要】 心理査定法の習得

【キーワード】 心理査定, 質問紙法, 発達検査

【関連科目】 『臨床心理学特論 A』(0.5), 『臨床心理基礎実習 A』(0.5)

【履修上の注意】 積極的に参加し, 主体的に取り組むことを期待する。前半部分は佐藤が, 後半部分は山本が担当する。

【到達目標】 クライエントの状態に適した心理査定を行える技術と能力を身につける。

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 臨床心理査定 of 概要
3. 質問紙法の概要
4. 性格査定に関する質問紙法演習 (1) YG 性格検査
5. 性格査定に関する質問紙法演習 (2) TEG
6. 症状査定に関する質問紙法演習 (CMI)
7. 行動の査定と行動分析 (不安を例として)
8. 診断基準, 構造化面接, 認知査定 (抑うつを例として)
9. 報告書の作成方法
10. 発達検査とは
11. 新版 K 式発達検査
12. ウェクスラー式知能検査
13. ビネー式知能検査
14. 長谷川式簡易知能評価スケール
15. 神経心理学的検査 (WCST, BGT)
16. まとめ

【成績評価】 受講姿勢と報告書によって総合的に評価する。

【再試験】 行わない。

【教科書】 下中順子編 臨床心理学全書 6 臨床心理査定技法 1 誠信書房

【参考書】 適宜紹介し, 配付する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218214>

【連絡先】

⇒ 山本 (3s06, 088-656-7192, yamamoto@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 佐藤 (3S05, 088-656-7202, satoken@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 12:10-12:40)